

「令和2年度学校学生生徒旅客運賃割引証の使用に関する調書」等 提出要領

本要領をご確認のうえ、調書の作成・提出をお願いいたします。

＜提出物＞

1. 令和2年度学校学生生徒旅客運賃割引証の使用に関する調書
2. ~~JR発行の学校指定書のコピー ※大学・短期大学の通信教育課程のみ。~~

A 調書の様式について

調書と集計が同一の様式となっており、学校側で入力不要箇所が一部あるため、当会で様式を修正し、学校入力用としてホームページに掲載しております。
ダウンロードしてご利用ください。

<http://www.shigaku-iwate.or.jp>

- ・都道府県教育委員会・知事部局【一般教育課程】 ……様式C
- ・都道府県教育委員会・知事部局・市町村教育特区【通信教育課程】 ……様式D

B 調書入力にあたっての注意事項

1. 学割証の取扱年度

5月1日～4月30日を1年度としています。

2. 大学・短期大学・高等専門学校の方へ

- ・併設短期大学（部）は別様式で作成してください。
- ・附属学校を有する国立大学は、附属学校がJRの指定を受けている場合、備考欄に施設名・指定番号を記入し、様式A(附)に附属学校の使用状況等を内数として入力し、提出してください。
- ・閉学（校）になる場合であっても、学生が在籍している間は提出をお願いいたします。

3. 都道府県（教育委員会・知事部局）の方へ

- ・公立学校分（教育委員会扱い）、私立学校分（知事部局扱い）ともに、一般課程用と通信教育課程用それぞれについて作成してください。
- ・「専修学校」、「各種学校」及び「通信教育課程」については、JRの指定を受けている学校のみが対象となります。

C 各入力項目について

1. 基本入力項目

○ ~~名称・学校番号／機関番号~~

~~別添2「『令和2年度学校学生生徒旅客運賃割引証の使用に関する調書』作成のための基本情報」に記載のとおり入力してください。~~

○ 学校名 ・ 取扱担当者氏名 ・ 電話番号 ・ メールアドレス

学割証を担当する学校名、担当者名及び連絡先を記載してください。

○国立大学附属学校名・指定番号

附属学校を有する国立大学は、ここに附属学校の名称・指定番号を記入してください。
複数の附属学校がある場合は、全て記入してください。

2. 令和2年度（R2.5.1～R3.4.30）の学割証受入状況

①令和元年度からの繰越枚数（令和2年4月30日現在）

令和2年4月30日現在での繰越枚数（残存枚数）を、発行台帳等に基づき記入してください。なお、閉学になった姉妹校等からの移管分については繰越枚数に合算してください。

※都道府県の一般教育課程、国立大学附属学校については学校種ごとの内訳を記入してください。

~~②令和2年度一斉交付枚数（令和2年7月3日付配付）~~

~~本機構から、令和2年7月に一斉配付を受けた枚数を、別添2『令和2年度学校学生生徒旅客運賃割引証の使用に関する調書』作成のための基本情報』に記載のとおり入力してください。~~

~~③令和2年度追加交付枚数（令和2年5月1日～9月10日）~~

~~令和2年5月1日から9月10日の間に、本機構に追加配付を申請して配布を受けた枚数を、別添2『令和2年度学校学生生徒旅客運賃割引証の使用に関する調書』作成のための基本情報』に記載のとおり、入力してください。~~

④令和2年度追加交付枚数（令和2年9月11日以降 ※ある場合のみ）

令和2年9月11日以降に、本機構に追加配付を申請して配布を受けた場合は、その枚数を入力してください。

⑤令和2年度受入枚数計（①+②+③+④）

※自動計算のため入力不要

3. 令和2年度（R2.5.1～R3.4.30）の使用状況

⑥令和2年5月1日～9月30日までの使用枚数

令和2年5月1日から9月30日までの使用枚数を、発行台帳等に基づき、ア～クまでの使用目的ごとに入力してください。

※「ク、廃紙」がある場合は、その理由についても必ず記載してください。

⑦令和2年10月1日～令和3年4月30日までの使用見込枚数

令和2年10月1日から令和3年4月30日までの使用見込枚数を、ア～キまでの使用目的ごとに入力してください。

※使用見込枚数は7か月分を記入するようになっていますが、ゴールデンウィーク中（4月下旬～5月上旬）に学割証の利用を希望する者については、4月中旬からの申し込みが予想されます。新年度分の学割証は、5月1日以降、発送まで2～3か月程度要しますので、この点もご考慮の上、不足することがないように十分精査し算出してください。

⑧令和2年度使用見込枚数計（⑥+⑦）

※自動計算のため入力不要

⑨令和2年度学生数

令和2年5月1日現在の学生（生徒）数を記入してください。

※都道府県の一般教育課程、国立大学附属学校については学校種ごとの内訳を記入してください。

⑩令和2年度学生一人あたり使用枚数（⑧÷⑨）

※自動計算のため入力不要

⑪令和3年度への繰越予定枚数（⑤－⑧）

※自動計算のため入力不要

計算結果がマイナスとなる場合は、「0（ゼロ）」と入力されます。

4. 令和3年度（R3.5.1～R4.4.30）の使用見込枚数

【重要】

例年、次年度の使用見込枚数は、前年度の学生一人あたり使用枚数に基づいて計算していますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、使用枚数が例年よりも大幅に少ないことが想定されますので、令和3年度の使用見込枚数は、前々年度（令和元年度）の学生一人あたり使用枚数に基づき計算いたします。

なお、令和2年度新設校については、令和2年度の使用見込枚数に基づき、当機構にて一定の増分を見込んで計算しますので、以下の項目のうち、⑮のみ記入し、その他の項目は空欄のままにしてご提出ください。

⑫令和元年度の使用枚数

令和元年5月1日から令和2年4月30日までの使用枚数（合計）を、発行台帳等に基づき入力してください。

⑬令和元年度学生数

令和元年5月1日現在の学生数を入力してください。

※都道府県の一般教育課程、国立大学附属学校については学校種ごとの内訳を記入してください。

⑭令和元年度学生一人あたり使用枚数（⑫÷⑬）

※自動計算のため入力不要

⑮令和3年度学生数（見込）

令和3年5月1日に在籍が見込まれる学生（生徒）数を記入してください。令和3年度に学部の新設・統廃合等の計画がある場合は、その点も考慮の上、記入してください。

※都道府県の一般教育課程、国立大学附属学校については学校種ごとの内訳を記入してください。

⑯令和3年度使用見込枚数（⑭×⑮）

※自動計算のため入力不要

⑰差引不足枚数（⑯－⑪）

※自動計算のため入力不要

計算結果がマイナスとなる場合は、「0（ゼロ）」と入力されます。

⑱令和3年度交付予定枚数（⑰を1,000枚単位で切り上げ）

※自動計算のため入力不要